

【全学科】 2年次 【選択】科目「保健」授業のシラバス

1 概要

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------------------|----------|-------|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 保健 | 単位数(コマ数) | 1(39) |
| 科目の目標 | ①個人、集団における健康や安全に関心を持ち、自らが実践できる意欲と態度を身につけるとともに課題解決のための基礎的な事項を理解する。 ②個人、集団における健康や安全に関する課題解決のための適切な意思決定、行動選択ができるようになる。 | | | | |
| 教科書(出版社) | 現代保健体育(大修館) | 副教材(出版社) | 現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館) | | |

2 学習の方法

- (1) 予習について
- ・前回学習した部分の教科書とノートを読み返しておく。
 - ・ノート、課題等の提出物の確認を済ませておく。
- (2) 授業について
- ・単元の中身によっては、教室以外に視聴覚教室やメディアセンターで行うことがあります。教科担任の指示に従ってください。
 - ・教科書と保健ノートは毎時間使うので忘れることのないようにしてください。
- (3) 復習について
- ・その日学習した部分の教科書とノートの読み返しをする。
 - ・宿題や課題等があれば次回しにせずに、記憶の新しいうちに取り組むこと。

学習アドバイス

- 「保健」は1単位なので、週に1回しか授業がありません。スムーズに授業に入るには必ず予習をして記憶を呼び起こしておく必要があります。
- 身だしなみ、あいさつ、話を聞く姿勢などをしっかりとし、規律ある授業を心がけてください。
- 休みが嵩むとあっという間に欠席時数オーバーになってしまいます。安易に休まないことと、授業がある曜日と通院などが重なる人は、必ず教科担任や、病院の担当医の先生と相談してください。

3 評価について

(1) 評価の観点

| 観 点 | 趣 旨 |
|------------|--|
| ① 関心・意欲・態度 | 現代社会と健康について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 (授業や提出物に対する取り組み姿勢を評価します) |
| ② 思考・判断 | 現代社会と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。 |
| ③ 知識・理解 | 現代社会と健康について、課題の解決に役立つ事項を理解している。 |

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

| 観 点 | 評価材料 | | 定期考査 | 保健ノート | グループワーク | 発言・発表 | レポート |
|------------|------|---|-------------|-------|---------|-------|------|
| | 割合 | | | | | | |
| ① 関心・意欲・態度 | 20% | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| ② 思考・判断 | 40% | ◎ | 教科書やプリントの内容 | | ◎ | | |
| ③ 知識・理解 | 40% | ◎ | 教科書やプリントの内容 | | ○ | | |

〈担当者からのメッセージ〉

- 定期考査はありませんが、単元毎にスキルテストを行います。技能の習得を目指して普段の授業から時間の使い方や練習方法などを工夫して取り組むこと。
- 運動技能が全てではありません。基本的に毎時間、授業への参加態度を見ます。身なりをしっかりと整え、仲間と協力し、積極的に授業に臨むこと。

【全学科】 2年次 【選択】科目「保健」授業のシラバス

4 授業計画

| 月 | 単元 | 時数 | 学習内容 | 観点別評価 | 到達目標 | 考査等 |
|----|-----------------------------|---------|---|-------|---|--------|
| 前期 | 【生涯の各段階における健康】 思春期と健康 | 3 | 1 思春期の体と健康 2 思春期の心と健康 | ① | 【各単元共通】 資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組むことができる。 | 前期期末考査 |
| | 性意識と性行動の選択 | | 1 性意識の男女差と性的欲求 2 性に関する情報と性行動 | ① | 課題の解決に向けて話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。 | |
| 5 | 結婚生活と健康 | 4 | 1 心身の発達と健康な結婚生活 2 結婚生活と家族の健康 | ② | 資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどしてそれらを説明することができる。 | |
| | 妊娠出産と健康 | | 1 受精・妊娠・出産 2 妊娠・出産期の健康のために | ② | 学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり分析したりすることができる。また、道筋を立ててそれらを説明することができる。 | |
| 6 | 家族計画と人工妊娠中絶 | 3 | 1 家族計画の意義 2 避妊法とその選択 3 人工妊娠中絶 | ③ | 【生涯の各段階における健康】 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | |
| | 加齢と健康 | | 1 加齢に伴う心身の変化 2 中高年を健やかに過ごすために | | | |
| 7 | 高齢者のための社会的とりくみ | 4 | 1 高齢者の健康とその支援 2 保健・医療・福祉の連携 | ③ | 【保健・医療制度及び地域の保健・医療機関】 生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | |
| | 【保健・医療制度及び地域の保健・医療機関】 | | | | | |
| 8 | 保健制度とその活用 | 2 | 1 保健行政の役割と仕組み 2 保健サービスの活用 | | 【環境と健康】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | |
| | 医療制度と健康 | | 1 医療の供給と医療保険 2 医療費 | ③ | | |
| 9 | 医薬品と健康 | 3 | 1 医薬品の役割 2 医薬品の使い方 3 医薬品の安全性のための対策 | | 【環境と健康】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | |
| | 医療機関と医療サービス | | 1 医療機関とその役割 2 医療サービスの活用 | | | |
| 後期 | 【環境と健康】 大気汚染と健康 | 5 | 1 大気汚染とその原因 2 大気汚染による健康影響 | ③ | 【環境と食品の保健】 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするような基準が設定され、それに基づき行われていること、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するような基準が設定され、それに基づきおこなわれていることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | 後期期末考査 |
| | 水質汚濁と健康 | | 1 水質汚濁とその原因 2 水質汚濁による健康影響 | | | |
| 11 | 土壌汚染と健康 | 5 | 1 土壌汚染とその原因 2 土壌汚染による健康影響 3 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり | | | |
| | 健康被害の防止と環境対策 | 3 | 1 環境汚染の防止と改善 2 産業廃棄物の処理と健康 | | | |
| | 【環境と食品の保健】 環境衛生活動のしくみと働き | | 1 ごみの処理 2 上下水道の整備とし尿の処理 | | | |
| 1 | 食品衛生活動のしくみと働き | 2 | 1 食品の安全と行政の役割 2 食品製造過程における衛生管理 | | | |
| | 食品と環境の保健と私たち | | 1 食品の安全と私たちの役割 2 環境の保健と私たちの役割 | | | |
| 2 | 食品と環境の保健を守るために | 3 | 1 食品環境の保健の確保で、私たち自身が日常生活でできることについて | | 【労働と健康】 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることについて理解したことを発言したり、記述したりすることができる。 | |
| 3 | 【労働と健康】 働くことと健康 | 2 | 1 働くことと健康のかかわり 2 働く人の健康問題 | ③ | | |
| | 労働災害・職業病と健康 | | 1 労働災害とその防止 2 職業病とその予防 | | | |
| | 健康的な職業生活 | 計 39 | 1 職場におけるとりくみ 2 日常生活におけるとりくみ | | | |

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断、③は運動の技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。